

平成 30 年第 6 回定例会一般質問通告事項

12 月 7 日 午 前	魚 谷 悟 議員 (日 本 共 産 党)	質問方式：一問一答方式
	<p>1 災害のその後について</p> <p>(1) 市道など、市が管理している場所の崩落などにより、民間に損害を与えた場合の対処について</p> <p>ア 7月の豪雨災害で、市が管理している場所の崩落などにより、民間に損害を与えたケースが、何件発生しているか</p> <p>イ その際、瑕疵がないとして賠償しなかったケースは何件あったのか</p> <p>ウ 今回の災害では、国や県の支援を受けて、民家の土砂撤去を公費で行うという、これまでと違った市民の立場に立った対応になっている。これらの点を考えて、市に瑕疵がないから賠償しないということではなく、賠償すべきだと考えるが、いかがか</p> <p>(2) 今後の豪雨災害を防ぐための危険箇所の対策について</p> <p>ア 市は未対策の約 1 5 0 0 ヶ所の危険箇所についてどのように進めるつもりか</p> <p>イ 9月議会で昨年度の対策箇所数を確認したら、わずか4カ所ということでしたが、このペースだと375年かかると言いました。4カ所にとどまっている理由は何でしょうか</p> <p>2 新高山の場外舟券売り場について</p> <p>(1) 新高山に開設予定の場外舟券売り場の開設に同意した決定的要因は何なのか</p> <p>これまで市長は、「議会の動向を見て」との立場を一貫して主張していたが、議会が「反対決議をしていない」ことを決めたからだけなのか</p> <p>(2) 市として場外舟券売り場を開設することに、どのようなメリットがあると考えているのか</p> <p>(3) 9月議会以後、この度の同意に至るまで、どのような検討をされたのかを具体的に示して下さい</p>	